

# 第 1 章 業務概要

## 章 内 目 次

1. 業務概要.....	1-1
1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務内容.....	1-1
1.3 工期.....	1-1
1.4 実施工程.....	1-2
1.5 業務内容.....	1-3
1.5.1 計画準備.....	1-3
1.5.2 課題の整理および改善方針の検討.....	1-3
(1) 運用実態・改善要望の整理.....	1-3
(2) 改善方針の検討.....	1-3
1.5.3 工事車両需要調整の運用支援.....	1-3
1.5.4 マスタ管理.....	1-3
(1) 工事情報管理.....	1-3
(2) 拠点情報管理.....	1-3
(3) ユーザ管理.....	1-3
1.5.5 合同現地踏査の実施.....	1-4
1.5.6 中央 JCT 交通マネジメントシステム導入検討.....	1-4
1.5.7 土量実績データの活用検討.....	1-4
1.5.8 交通処理検討.....	1-4
1.5.9 報告書作成.....	1-4
1.6 業務フロー.....	1-5

## 1. 業務概要

### 1.1 業務目的

本業務は、東京外かく環状道路（関越～東名）における工事に際し、過年度業務においてとりまとめられた『交通マネジメントシステム（工事関係車両を一元的に管理するためのマネジメントシステム）』について、工事車両需要調整に必要なデータ整理、マスタ管理を行うとともに、運用時の問題点等を整理した上で、システムの改善方針の検討を行うものである。

### 1.2 業務内容

本業務の構成は以下のとおりである。

- ①計画準備
- ②課題の整理および改善方針の検討
- ③工事車両需要調整の運用支援
- ④マスタ管理
- ⑤合同現地踏査の実施
- ⑥中央JCT 交通マネジメントシステム導入検討
- ⑦土量実績データの活用検討
- ⑧交通処理検討
- ⑨報告書作成
- ⑩打合せ

### 1.3 工期

令和2年4月29日～令和3年3月31日

## 1.4 実施工程

表 1-1 工程計画

検計項目	令和2年												令和3年			備考	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1. 計画準備	●	●															
2. 課題の整理および改善方針の検討		●	●	●	●							●	●				
3. 工事車両需要調整の運用支援																	
4. マスタ管理																	
5. 合同現地踏査の実施																	
6. 中央JCT交通マネジメントシステム導入検討																	
7. 土量実績データの活用検討																	
8. 交通処理検討																	
9. 報告書作成																	
打合せ(6回)	①		②				③				④					⑤	中間時は必要に応じ実施
照査(弊社独自)	○							○								○	ISO9001に準拠

## 1.5 業務内容

### 1.5.1 計画準備

本業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し調査職員に提出するものとする。

### 1.5.2 課題の整理および改善方針の検討

#### (1) 運用実態・改善要望の整理

交通マネジメントシステムを利用する工事担当者に対し、ヒアリングを行い、運用実態・改善要望等を整理する。

#### (2) 改善方針の検討

1.5.2(1)、1.5.3の結果に基づき、交通マネジメントシステムにおける課題を整理し、運用面及びシステム機能面の改善方針の検討を行う。

### 1.5.3 工事車両需要調整の運用支援

中央JCTの工程会議において、過年度検討した工事車両需要調整方法により、JV間調整の支援を行うために必要なデータ整理作業を行う。なお、本格導入後の支援業務は含まない。

### 1.5.4 マスタ管理

#### (1) 工事情報管理

交通マネジメントシステムを新規に導入する工事担当者に対し、システムへの工事情報の登録を行い、システムより発行されるID等を工事担当者へ通知する。

また、工事担当者より提供されるGPSトランシーバデータ提携サービスへの申込情報をもとに、データ連携対象工事の追加を行う。

#### (2) 拠点情報管理

仮置場、受入先、待機場所等の追加や変更及び廃止等に対し、システムの新規登録・修正を行う。また、必要に応じ、拠点ごとに登録されたGPSの検知範囲の調整を行う。

#### (3) ユーザ管理

交通マネジメントシステムを新規に導入する事業者及び工事担当者があった場合は、システムサーバへの新規ユーザの登録を行い、システムより発行されるID等を事業者及び工事担当者へ通知する。また、ユーザ情報の変更や、利用を停止するユーザがある場合は、ユーザ情報の削除を行う。

#### 1.5.5 合同現地踏査の実施

受注者は、受注者の実施する現地踏査とは別に、調査職員と協議のうえ発注者と合同で現地踏査を実施するものとする。合同現地踏査において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、受発注者間で相互に確認するものとする。

#### 1.5.6 中央 JCT 交通マネジメントシステム導入検討

中央 JCT への交通マネジメントシステム導入案策定にあたり、最新の工事工程計画の見通し等を踏まえて過年度の導入案の更新を行うとともに、工事関係者向け説明会の準備、資料作成を行う。

#### 1.5.7 土量実績データの活用検討

交通マネジメントシステムの運搬土量データを発生土の月次実績値として有効活用するためのマニュアル作成及び、システムデータ管理に関する技術支援を行う。

#### 1.5.8 交通処理検討

外環道路事業用建設発生土仮置場からの土砂搬出について、昼間搬出時における近隣交差点への交通負荷を調査検証する。

#### 1.5.9 報告書作成

報告書作成は、検討内容のとりまとめを行うものである。

## 1.6 業務フロー

下記のフローに沿って業務を実施する。

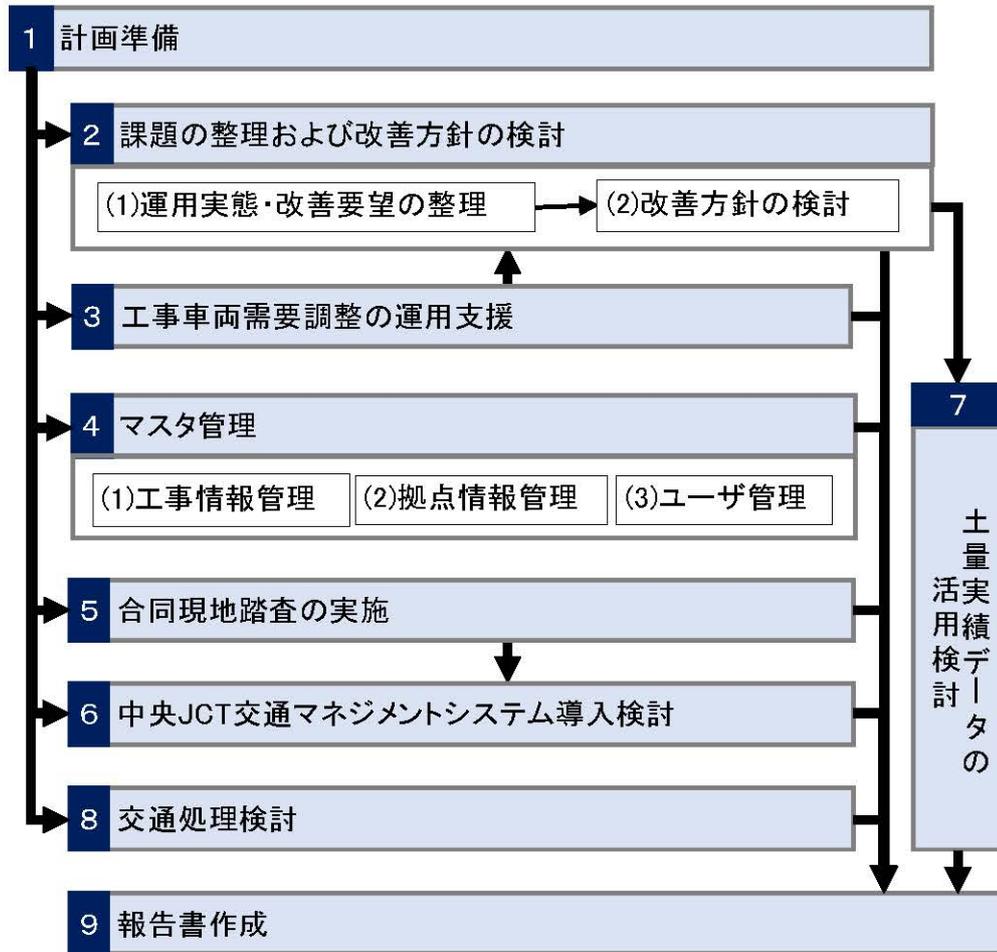


図 1-1 業務フロー